

仙台市における「せんだいスマート」の取組

2018.7.27-7.28第13回 日本モビリティ・マネジメント会議



公共交通をスマートに使いこなして、豊かな生活を。



せんだいスマート

仙台市では、鉄道やバスなどの公共交通利用者の増加を目指すため、「せんだいスマート」をキャッチフレーズに公共交通利用促進の様々なソフト施策を推進しています。「せんだいスマート」には、市民の方々に普段の移動で公共交通などを利用することを通して、健康面や生活そのものをスマートなものにしてもらいたいというメッセージが込められています。



1 転入者MM

転入手続きの窓口で「せんだいスマートグッズ」を配布しています



icsca(イクスカ)は、仙台市交通局が発行するICカード乗車券です。バスや地下鉄を一枚のカードで利用でき、交通機関のご利用がスムーズになります。SuicaやSuicaと相互利用している交通系ICカード(PASMOなど)での地下鉄・バスのご利用も可能です。

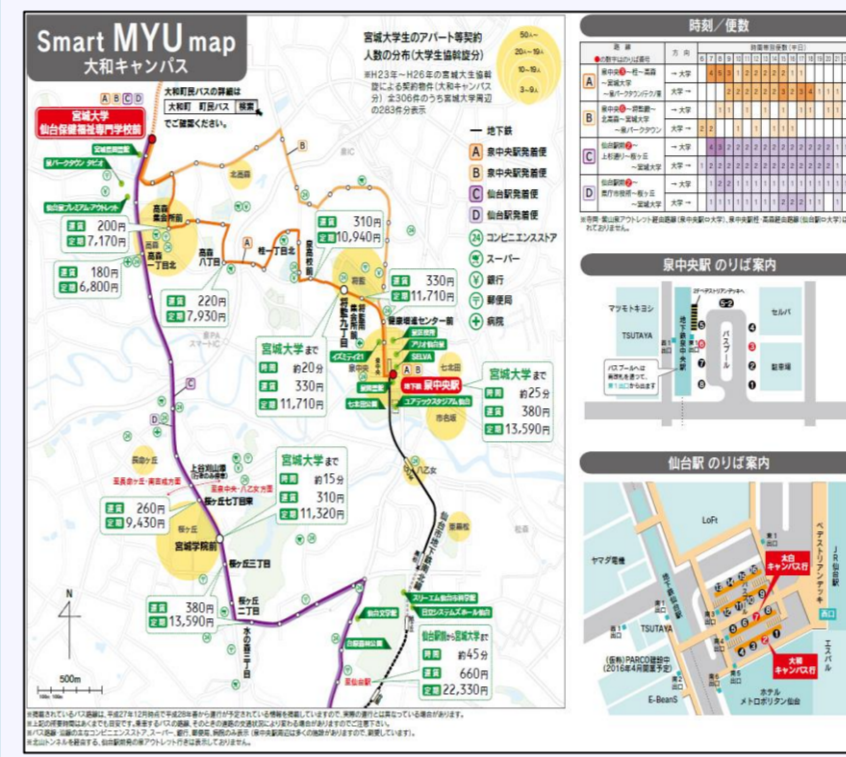


せんだいスマートグッズは、市内複数の事業者が運行する路線バスを一つのマップで見ることが出来る「統合バスマップ」や、動機付け冊子など公共交通に関する情報をセットにしています。icsca(イクスカ)の利用ガイドも同封し、公共交通の利用促進を図っています。(H29は23,000部作成)

2 大学生MM

大学・大学生協等と連携しながら大学独自の交通情報マップを作成しています

新入生への入学手続き資料に交通情報マップを同封し、新入生に公共交通の利便性の高い地域への居住を促すことで公共交通の利用促進を図っています。現在仙台市内に大学(短大を含む)は14校あり、平成20年度の3校を皮切りにこれまで9校で交通情報ツールを作成しています。



宮城大学マップ

学生や大学、大学生協、NPOなどからなるワークショップにおいて、通学に便利な居住地情報や公共交通情報など盛り込む内容を検討した、各大学オリジナルの交通情報ツールとなっています。大学ごとに内容やデザインが異なり、大学のオリジナル性に富む内容になっています。



学生ワークショップやゼミへのテーマ提供



また、大学のゼミや、学生ワークショップへテーマを提供して、若者が公共交通について議論するきっかけを創出しています。

3 小学生MM

公共交通に関する学習を推進しています

平成22~25年には交通エコモ財団支援事業により、先生方が授業内容に応じてアレンジできる電子教材、模擬券売機などを作成し、市内の小学校へ交通環境学習実施を働きかけ、普及拡大に取り組んでいます。

平成29年度は、東西線沿線の荒井駅に近い七郷小学校などにおいて、校外学習で公共交通機関を利用する前の事前授業として、電子教材や模擬券売機を使用しながら地下鉄の乗り方や乗車中のマナーについて学習しました。



電子教材



模擬体験セットでの学習は子供たち大好評!!

4 企業MM

自動車から公共交通への転換

地下鉄駅周辺の事業所に、移動手段を自動車から公共交通機関へ転換してもらうことを目的に実施しています。

公共交通利用に対する意識と今後企業MMの進め方を検討するための基礎データとして地下鉄沿線の企業に対しアンケート調査を実施し、調査結果の分析を行いました。今後は、南北線も含めた地下鉄沿線の事業所に対して、公共交通機関の利用を促す取り組みを展開していきます。



平成28年度は地下鉄卸町駅周辺の企業に対しパンフレットを作成、配布しました。

5 庁内MM

仙台市職員を対象に意識啓発

市職員を対象として、広報紙の発行やポスターの掲示、研修を実施し、通勤や業務での移動における自動車利用を見直すよう促し、自動車から公共交通への転換を図っています。



市長との対談

藤井氏

平成30年1月には、(一社)日本モビリティマネジメント会議代表理事、京都大学大学院の藤井聡先生をお招きし、公共交通の重要性について講演して頂きました。



公共交通利用促進イベント

交通フェスタ



市民一人一人の公共交通利用や環境意識の高揚等を目指し、「魅力いっぱい!交通フェスタ」を毎年開催しています。平成28年度は「せんだいスマート」による公共交通利用に関するPRのほか、超小型モビリティなどの次世代交通の紹介、自転車の安全利用啓発、ミニトレインの体験などのコーナーを設け、約2,500人の来場がありました。

小学生バスの絵コンテスト
入賞作品



小学生バスの絵コンテスト表彰式

小学生バスの絵コンテスト

コンテストを通じ、小学生にバスをもっと身近な乗り物と感じてもらい、さらに家族みんなのバスへの関心を高めることを目的として開催しています。

平成29年度は市内103校から2,376点の作品が応募されました。

公共交通推進の取組

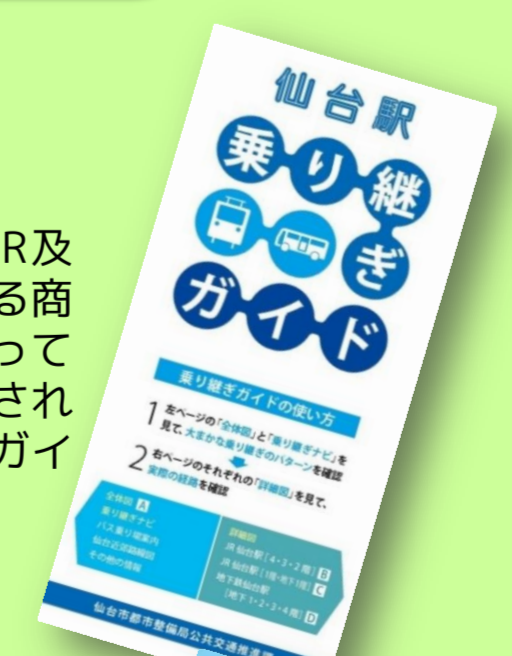
仙台駅乗り継ぎガイド

仙台市の交通の拠点である、JR及び地下鉄仙台駅は、周辺に位置する商業施設等の連絡通路が複雑に繋がっているため、初めて仙台駅をご利用される方も分かりやすい「乗り継ぎガイド」を作成しています。

おでかけ便利帳

平成27年度仙台市市民協働事業提案制度を活用し「おでかけ便利帳」を作成しました。(実施主体(特活)まちづくり政策フォーラム「交通を考える研究会」)

それぞれの目的地ごとに、どのバスにどこから乗るか、バスのルートや運賃、時刻表等が示してあり、はじめての人でも迷わずにバスや地下鉄に乗ることができるよう工夫されています。



公共交通ラボ



平成30年度市民協働事業提案制度を活用し、「公共交通ラボ」を実施しています。(運営主体(株)都市設計)

7月のワークショップでは『公共交通のこれから~乗って楽しい歩いて楽しい仙台』をテーマに、10代から70代までの市民が集まり、公共交通を利用するアイデアなど活発な意見交換が行われました。

